

支援編

33年間、

障害者を食事に無料招待

焼肉レストラン高砂（朝霞市）

食事と飲み物を含め1人当たり4千円程度の料理を提供しているとのこと、

負担は小さくない。それでも、「BSE問題などで経営が苦しい時期でも、これ

店に行きづらく食事に出席できません。この機会は、気軽に参加でき、ありがたい、

という声を聞いて、やっていてよかったですと思いました。今年2月19日に開催。雪のぱらつくあいにくの気候だったが、障害者・介護者含め102名が参加。選挙間近の富岡朝霞市長も出席、挨拶をした。

だけは休まない」と決めていました」と、高橋社長は語る。「障害者の人たちは、普段、お



食事会で挨拶する高橋社長（右）、左は富岡朝霞市長

地域と障害者を思う気持ちは人一倍強い。今後も、お店がある限り、続けていくつもりという。

朝霞市溝沼の焼肉レストラン高砂は、毎年障害者の食事招待会を開いている。公募などで市内の障害者約百名を招き、無料で食事をしてもらう催しだ。元々、創業者の高橋久男さん（有限会社高砂会長）が、地元で感謝し恩返しをするという目的で、オープン2年目の昭和56年から始めた（当初は店名が「ひこバンバン」）。その後、店名が「高砂」になり、社長が息子さんの高橋秀明さんに替わっても継続し、今年で33回を数える。



レストラン高砂と高橋社長



食事会の風景（2013年2月）